

【美術館】新型コロナウイルス感染症にかかる影響について

- ・臨時休館した期間・・・１００日間

令和２年３月２日～３１日、３０日間

４月４日、５日、９日～６月１４日７０日間

- ・臨時休館に伴い中止した事業

令和元年度 ロビー展（糸賀英恵展）、ワークショップ等関連事業等

（当初開催予定 令和元年１２月１４日～４月５日）

令和２年度企画展及び展覧会関連事業

春季企画展（川瀬巴水展、柳原義達展）ギャラリートーク、ワークショップ等

夏季企画展（リトアニア展、スタジオクーカ展） 〃 、 〃

秋季企画展（横山操展） 〃 、 〃

- ・縮小した業務

展覧会関連業務（企画展そのものが中止となったため業務縮小）

受付・監視業務（臨時休館中に伴い、業務がなかったため受託者と協議のうえ減額）

- ・美術館臨時休館にともなう、レストラン休業

３月営業日数 １０日

４月、５月、６月営業日数０日

- ・支出しなかった予算（展覧会経費のみ。）

川瀬巴水展、柳原義達展（中止）にかかる照明作業委託料の２２０，０００円は未執行。

（ただし、展覧会開催準備経費３，４５０，０００円は支出済。）

なお、年間予算４４，６６０，０００円のうち、３１，６００，０００円程度は執行しない予定。

- ・観覧者数（平成３１年３月～令和元年１０月と令和２年３月～１０月との比較）

△４１，４６１人

- ・観覧料（ 〃 ）△１０，１２９，７８０円

臨時休館中、開催中止となった川瀬巴水展図録の販売（通販及び窓口）を５月８日（金）より開始した。

開館再開の６月１５日（月）までに、１１１冊、２２２，０００円を販売した。

以 上

【当館の新型コロナウイルス感染症対策】

本年6月16日の再開館にあたり、当館独自の「新型コロナウイルス感染症拡大予防対策（ガイドライン）」を定め、以下のとおり対応しています。

【来館者対策】

- ・東西のエントランス及び展示室前にアルコール消毒液を設置。
- ・来館者の方々にマスク着用とともに、手指消毒をお願いし、発熱や体調の悪い方々等は、入館を御遠慮いただく旨の館内表示や館内放送を実施。
- ・受付カウンターや市民アートギャラリー受付には、飛沫感染防止パネル、シートを設置し、飛沫感染防止に努めている。
- ・ソーシャルディスタンス対策として、床やエレベーター内への足跡マークやベンチへの表示、モニターやチラシ配架ラックの撤去、図書コーナー及び情報コーナーの閉鎖を実施し、接触機会を減らす取り組みをしている。
- ・受付や監視スタッフには手袋、フェイスシールド等により安全を確保。グッズ販売は図録のみとしている。
- ・神奈川県のLINE お知らせコロナシステムを導入。

【検温】

受付・監視等スタッフ（委託業者）については、出勤時に体温測定を行い、記録をとり保管。37.5℃以上の者等は出勤停止とし、健康な者と勤務交代。

非接触式体温計及びサーモグラフィ（各1台）を購入。ホール等貸館利用団体への貸出や体調不良者への検温に使用する。

【施設の衛生管理】

- ・エントランス、2階のライトコートの手すりやテーマホールの窓ガラス（網戸を設置）などは開放し、換気に努めている。また、展示室には空気清浄機を設置予定。
- ・館内（手すりやトイレ等、不特定多数の者が触れる箇所）の消毒、清拭を適宜実施。
- ・トイレは蓋を閉めて流すよう、貼り紙をして促している。コインロッカーやハンドドライヤー、水飲み場は当面、使用を停止としている。

【貸館施設】

市民アートギャラリー等の貸館施設は、当館独自の「新型コロナウイルス感染症拡大予防対策（ガイドライン）」に基づき、3密を防ぐ等の感染防止への協力や参加者名簿の提出を依頼している。ミュージアムホールは、構造上、常時換気が十分にできないことから、活動内容により、飛沫感染の恐れがある催し物ものは利用を御遠慮いただくなど、今後新型コロナウイルス感染症対策の状況等を踏まえ対応している。

【キャッシュレス決済の導入】

来館者との接触機会の低減を図るため、新型コロナウイルス感染症対策として、「来館者の安心安全を守る」観点から、来館者と当館受付スタッフ等との接触機会を低減させるよう、キャッシュレス決済及び券売機を令和3年2月に導入予定。

本市では、キャッシュレス決済推進について「平塚市行財政改革計画（2020-2030）」において、「ICT活用推進事業」として位置付けられており、既に市税等の支払いにクレジットカードやQRコード決済によるキャッシュレス決済が導入されている。

以 上